レッスン：PYR　No.55

テーマ：否定性

PYR 55 KE07 S2/211/06

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

エクササイズから始めます。

レッスンPYR55 エクササイズ　No.1

　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身を見ます…自分の境界を感じます…同時に自分が純白の五芒星の中にいて守られているのを見いだします…

　あなたは自分自身の部屋、部屋の真ん中に立っています…あなたの前には純白な輝きの壁があり、右には赤の輝きの壁、後ろにはホワイトブルーの輝きの壁があり、左にはウルトラバイオレットの輝きの壁があります…4つの輝きがあなたのまわりにはあります…

　それでは四面ピラミッドのヒポスタシス（＊状態）を与え、今四面ピラミッドがあなたの部屋のなかにあり、あなたは四面ピラミッドの底面の真ん中に立っています…底面の真ん中は部屋の真ん中と一致しています…

　そしてあなたの前には四面ピラミッドのサイドからの純白の輝きがあり、そして他の全てのサイドからも部屋の壁からと同じ輝きがあります…

　それでは三面ピラミッドのヒポスタシスをもたらします…あなたの前には3面ピラミッドの2つのサイドによって形成される角があります…その角の右側のサイドはホワイトピンクの輝きが、そして左側のサイドにはホワイトブルーの輝きがあります…そしてもう一つのサイド、あなたの背後のサイドからは金色の輝きが放たれています…背後のサイドは四面ピラミッドおよび部屋のサイドと平行です…

　それでは五面ピラミッドのヒポスタシスを与えます…ここでもあなたの正面には五面ピラミッドの角があり、それは三面ピラミッドの角と一致していますが、角度は異なっています…五面ピラミッドの全てのサイドの色は同じで、底面から上の方の色は鈍い白で、頂点に近づくにつれて透明な明るい輝きとなります…

　それらの輝きを部屋から見ることができます…四面ピラミッド、三面ピラミッド、そして五面ピラミッドの色の輝きを同時に見ることができます…同時に、あなたは部屋、全てのピラミッドの共通の底面に立っていて、しかも純白の五芒星の輝きのなかで守られています…

　それら全ての法則から与えられる助けを利用することができることを願います…そして徐々にそれらの法則をマスターすることができることを…そしてそれによって、特定のサイクルをマスターできることを願います…あなたは今それら全ての3次元のシンボル（それはどれもそれぞれの法則を意味しています）の中にいてとても快適に感じています…

　再び、それらの法則があなたに与えるものをマスターできることを願います…同時にあなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。終わります。

このレッスンは引き続き質疑応答となります。

Ｑ：四面ピラミッドの頂点は部屋の外に突き出ています。五面および三面ピラミッドに関してはどうですか？

Ｋ：四面ピラミッドの頂点だけが部屋の外に突き出ています。このピラミッドをマスターすることは現在のパーソナリティーが地のエレメントの中から上に移行して地上にある、地のエレメントの上にある大きな四面ピラミッドの中に入ることを意味します。

　エジプトの様々なピラミッド、そして世界の他の場所にあるピラミッドでは、地面のなかに宿所(quarters)があり、部屋との関係において特定の位置にあります。ですから､皆さんはピラミッドを創造し、そのピラミッドは皆さんが上だとみなす方向を向いています、あなたは何かの上に、底面上に立っています。そして2番目のサイクルにいる間、そのパーソナリティーは潜在意識的意識のセルフエピグノシスを現しています。つまり、パーソナリティーは意識的には生きていません。

　そのパーソナリティーがその特定のサイクルをマスターして3番目のサイクルに入ると、勿論3番目のサイクルでは大きなピラミッドの中です。その時パーソナリティーは意識的に生きるようになり、意識的意識のセルフエピグノシスを使い、五面ピラミッドをマスターするためにワークを始めます。そして真の意識をより意識的に使用するようになるでしょう。

　3番目の能力をマスターするということは、現在のパーソナリティーが真の感覚を意識的に使うだけでなく､自動的に使うことを意味します。この3番目のサイクルをマスターした後、そのパーソナリティーは火の洗礼を受け、それはロゴスご自身が行います。そして真の感覚を意識的のみならず超意識的にも使います。そしていわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを持つようになります。

Q：火の洗礼とは一体どういう意味ですか？

K：それは一つのプロセスであり、イエスキリストロゴスがペンテコスト（＊五旬節）の後に、弟子達のためにスタートさせたものです。それは火の洗礼の始まりであり、それは弟子達が3番目のサイクルを完了し、4番目のサイクルに入り始めたことを意味します。

Q：五芒星は全てのピラミッドの中にあるのですか？

K：そうです。五芒星はまた元型である人間のイデアフォームを意味し、同時にそれは5つの感覚、五感を意味します、それが真の、または影の感覚であれ。そしてそれは頂点がどの方向を向いているかによります、上向きか､下向きか。それはまた元型である人間のイデアフォームを意味します。

　私たちが身体にまとう五芒星に関しては、それはフォームを意味します。感覚に関しては､五芒星はヘソの位置、太陽神経叢に置かれ、それはまた守護でもあります。

Q：それは私たちの方に投射される悪いエレメンタルから私たちを守るのですか？

K：そうです、そしてそれについては説明しました。なぜなら五芒星は乗り物であり、パーソナリティーはそれを日常生活において使用します。つまり、それらの反対のもの、否定性に奉仕するエレメンタルは、その乗り物もまた五芒星なのですが、それは逆さまの五芒星です。そしてもし彼等が攻撃すると、彼等は目の前に頂点を見いだすことになり、そのためにあなた方にいかなる害をも与えることができません。勿論、それはあなた方が気づかないうちに行われています。ですから、真剣な探求者は何も恐れる必要はなく、進化成長のプロセスにおいて何もあなた方を害することはありません。

　自己実現すると、乗り物は六芒星になります；**自己実現した現在のパーソナリティーの前には何者も立ちはだかることはできません。なぜなら、それらの波動の中では反対のものは存在しないからです。しかし、不可視のヘルパーは自分の波動を下げ、それによってそのようなエレメンタルを非活性化させます。しかし、何と、それらに向けた多くのワークがあります。なぜなら、彼等は継続的に生き残ろうとし、攻撃する瞬間を観察しているのです。しかし、彼等はなにをしても成功しません。彼等が何かをしようとするとき、自分たちの状態を危険に陥らせるのです、なぜなら、最終的には彼等は非活性化されるからです。**

**Ｑ：私は14芒星とミカエルの関係を知りたいと思います。**

**Ｋ：何もありません。コネクションは14芒星であり、それはLifeそれ自体から与えられています、それによって現在のパーソナリティーが何であれ自己実現に到達するために必要なことを経験するように。そしてそれが完了する時、14芒星はそのパーソナリティーに最大の名誉を与えます…それは同胞の人間達の痛みを軽減することができることです。それはイバラの冠を意味します。つまり、それぞれのトゲは痛みを与えます、なぜならばあなたが他人の痛みを軽減する時、あなたはその痛みを背負い、そして最終的にあなたは他人を益するために十字架に掛けられるのです。**

**Q：ミカエルが助けることが可能ですか？**

**K：ミカエルはその一つであり、一つのアークエンジェルのオーダーが他の全てのオーダーと協力します；そして個人的なミカエルはオーダーを意味します、それはそのオーダーからではないにもかかわらず。**

**ミカエルは確かに助けます、なぜならば生命の木に関して、ミカエルは存在の諸世界から実存の諸世界への下降を管轄しているからです。それ故に、一つのサイドは赤なのです。しかし、それでもあなたがこの下降の中に入ると、このサイドの全てのアークエンジェル達があなたを助けます、それによってそのパーソナリティーがミカエルだけでなく物質を纏うことができるように。私たちの中には全てのアークエンジェルのオーダーがあり、それらのアークエンジェルのオーダーの仕事は、肉体における人間のイデアを助けることだけです。パーソナリティーは他の実存の波動のなかでは必要とするものは何もありませんが、この実存の波動（＊物質界）においてのみ様々なものを必要とします。それら全ては現在のパーソナリティーに伴って下降してきますが、その前ではありません。彼等の仕事は特に物質界において行われます。**

**転生のサイクルに留まる自己実現した現在のパーソナリティーは、引き続きそのパーソナリティーと共にありますが、しかしその現在のパーソナリティーは彼等（＊アークエンジェル達）と共に働きます；そのパーソナリティーに伴うアークエンジェル達のみならず、各オーダーが行う仕事と共同で働きます。自己実現したパーソナリティーには限界はありません。なぜなら彼等はプログラムされたエピグノシスであるアークエンジェル達のようにプログラムされていないからです。**

**個人的なアークエンジェルでさえもプログラムされています、彼等は私たちが彼等が意味するオーダーに同調できるように助けているのです。唯一それらとは異なっているのが守護アークエンジェル、及びウリエルです。ウリエルはオーダーと共にありますが、しかし特定のエレメントをマスターするためではなく、ウリエルのオーダーに同調できるように助けています；彼が行う“助け”とは私たちにつきそうアークエンジェルたちがウリエルのオーダーに同調するようにするのです。**

**勿論、私たちが実存の諸世界に下降する前に、私たちの魂のセルフエピグノシス、つまりインナーセルフは当時も、そして今でも一つのアークエンジェルなのです。私たちはそこに戻ろうとしているのです、そのアークエンジェルのヒポスタシス、状態に。自己実現する時には、私たちはアークエンジェルの本質を表現しませんが、私たちが実際に最内奥のセルフに戻る時にはアークエンジェルの本質を表現するようになります。**

**Q：人間としての私たちのヒポスタシス及び五芒星に関してですが、アークエンジェル達も同じですか？**

**K：Lifeがその本質を完全に表現するためには、Lifeの本質を表現するために手段が必要です。それはスーパーサブスタンスの体です。私たちにはスーパーサブスタンスとしての質料があり、それはあらゆるものが存在し、実在する海です。そしてこの体が形を帯びるためには、その骨組みが必要です、完全に活性化された骨組みが…その結果、元型である人間のイデアフォームの体となるために。ですから創造の諸世界においてLifeが完全に表現されるためには、体が必要です。そして五芒星がその体を意味します…アークエンジェル達がそれを使用する、または人間のイデアがそれを使用するにしても。そしてその骨組みは汎宇宙的イエスキリストロゴスによって与えられます。**

**私たちがパーソナリティーとしてのイエスキリストロゴスについて話す時、それはそれ自身のなかでそれ自身を現しているその全体性における絶対存在です。それは人間ではありません、数多くの転生の結果として自己実現に到達し、この地上にいる間に何であれ彼が現わしたものを現した存在です；今この瞬間でも、彼はこの諸宇宙のなかの無数の惑星において彼自身を現しています。**

**人類がこの地球上においてこのリアリティーを認識する時がいつか来ることでしょう、人類がどのようにしてそれを“信じる”ポイントに到達するかどうかに関わらず。そしてその時それは経験に基づいた知識となることでしょう。そして勿論、重要なのは経験に基づいた知識です。なぜなら、盲目的に信じるのは良くないからです；あなた方は自分の指を現実、リアリティーに置いて、それが現実であるか否かを自分自身でテストするべきです。それゆえにエレブナでは、何であれあなた方に与えられるものはそれによってあなた方が問いを生み出し、それを使用してテストするためです。**

**Q：私たちのヒポスタシスとして私たちには五芒星があると言いました。しかしあなたはまたヒポスタシスとして大きな金色の三角形についても述べました。**

**K：三角形はLifeそれ自体の本質を意味し、五芒星はヒポスタシス(状態）を意味します。Lifeの本質を現すためには、創造の諸世界においてそれを現す手段が必要です。そしてその手段が元型としての人間のイデアフォームという体です；それは言い換えれば天人であり、それは主の体です。なぜなら、創造の諸世界におけるあらゆる現れにこの体を与えたのは主だからです。**

**Q：私たちは与えられた知識をテストする必要がある、と言いました。しかし、私はそれをどのようにして行うのはわかりません。**

**K：あなたはそうと知らずに日常生活においてテストしています；どのようにして同胞の人間たちにアプローチするかなど。勿論、この経験を通じた知識は３番目のサイクルで始まります。おそらく、時々、２番目のサイクルにいる時でも何らかの経験的知識を有し、その結果そのパーソナリティーは矯正され、自分が正しいやり方のなかにいることを認識するかもしれません。**

**あなたの夢はあなたにとってよりリアルなものとなり、そして徐々に自分の夢を覚えているようになり、さらには夢の中の出来事を自分が望むように進めるようにさえなるでしょう。記憶をつなぐ橋が徐々に作られるようになり、そして徐々により多く真の五感を使うようになっていきます。そしてそのパーソナリティーにそれ以外の多くの出来事が起こるようになり、Lifeそれ自体からより多くを表現するために努力をしている間、自分の時間は失われていないということがわかるようになります。私は、Lifeそれ自体からより多くを現すことのできない人間がいるということを受け入れません。結局、神は全ての人間の内側にいるのであり、一人ぼっちの人などいません。**

**Q：私たちを害することのできるものは何もない、とあなたは言いました。**

**K：そうです。何もありません。誰かを害することのできる唯一のパワーはその人の中にあるパワーであり、それはそのパーソナリティー自身が作りだしたエレメンタルです。あなた自身がドアーを開けて、あなたを攻撃するのを許さなければ、外側のものは何もあなたを攻撃することはできません。例えば、あなたが自分を相手と結びつける何かを行うことによって、相手を招き入れる、などということです。例えば、何らかの現象を起こすためにそれらのエレメンタルに同調しようとするようなシステム、やり方があります。あなたはそれらを招き入れ、それらと結びつくのです。ですから、あなた自身が作ったものによって攻撃されるだけでなく、あなたの部屋の外側にあるものによっても攻撃されるのです。あなたがそれらとつながるのです、つまりあなたはそれらの波動とひとつになり、共振するのです**

**悪魔のようなエレメンタルもありますが、それらは人間の無知によって生み出されたシステムです。それらはオーダーに似ており、人間は今でもそれらのシステムにフォーカスしてそれらを生かしています、つまり活性化させ続けているということです。昔から人間はそれらの悪魔のオーダーを創造したのです；それらを創造したのは神ではなく、人間の無知によるものです。しかしもしあなたがそれらに自分を開かなければ、それらを恐れる必要はありません。ですから、何であれ現在のパーソナリティーを魅惑するものには注意する必要があります。残念ながら、現在のパーソナリティーを魅惑するものは現象です。なぜ彼や彼女にはできて、自分にはできないのか。その結果、人々はあちこち走り回り、危険を認識することなく素早くパワーを手に入れる方法を探し求めます。それが現在この地球上で一般に起きていることです。**

**Page5**

 **Ｑ：もし私たちがそれら全ての体験を得る必要があるのなら、全ては予め定められていて、どこに自由意志がはたらく余地があるのだろうかと考えます。**

**Ｋ：それはあなた次第です；自分の自由意志を使うかどうかはその人次第です。前にも言いましたが、現在のパーソナリティーはそれ以前のすべての転生を合計したものであり、そして自分の自由意志を使うことによって、それまでの過去の総計の4分の１を変えることができるのです。ある人々が理解しているような“予め決められたカルマ”はどこにあるのでしょうか、自分の自由意志を使って変えることができる時に？**

**この実在の波動の中で初めて呼吸した時以来（＊生まれた時以来）、全ての過去生とその経験の結果から今生にもたらされた全てを変えるための自由意志を私たちは持っているのです。それまでの全ての転生から考えて、その4分の１とはかなり大きな部分です。ですから、それを過小評価しないでください。**

**Ｑ：あなたはしばしば偶然は何もない、と言います。それなら、過去の経験に基づいた構造の中にいるのなら、どこに自由意志があるのでしょうか？**

**Ｋ：何かが起きる時、それは直前の結果です。ですから、次の瞬間を決めるのは、この今の瞬間です；ですから偶然はあります、なぜならそれはその前の瞬間からスタートしたからです。しかし、それは何年も前から書かれていたものではなく、その前の瞬間からです。それゆえに、私たちは“何であれ今できるベストなことをしなさい、明日まで先延ばしするな”と言うのです。なぜなら、今あなたがそれをすれば、それに従って次の瞬間は肯定的なものとなるからです。**

**Ｑ：私たちの否定的な考えは肯定的考えよりも簡単に広まるのはなぜですか？**

**Ｋ：私たちは無知の諸世界に住んでいます。否定的な考えの方が簡単に伝えられます、なぜならそのパーソナリティーは価値のないことにより興味を抱き、そのパーソナリティーは地のエレメントに魅惑されているからです。私たちは否定的、二元的、無知の世界に住んでいます。人間の無知は否定的です。**

**Ｑ：私たちはしばしば地のエレメントの否定性について話しますが、人類が生み出した素晴らしい哲学、詩、その他の素晴らしいものについてはどうですか？それらはどこにあるのでしょうか？**

**Ｋ：あなたは小説家や作曲家などはより高いレベルの気づきに到達していると信じるのですか？**

**Ｑ：私は人について言っているのではなく、彼等が創作したものについて述べているのです。**

**Ｋ：私はこの地上にアガピがあるとは思いません。お互いに対する思いやりを示すには多くの努力が求められます。この地上における人間の個人的利益、またはグループの利益に基づいた正義のものさしがたくさんあります。そしてその動機は他のすべてよりも重要視されています。そうです、私たちは大体において否定性に囲まれて生きており、人間はいわゆる肯定的ではなく否定的な正しい思考を使っています。**

**もし人々が2つの小さなエゴの中のより大きなエゴから表現しているなら、私たちは現在のような否定性を経験するでしょうか？勿論、ノーです。人間は常に2つの小さなエゴにおけるより小さなエゴによるいわゆる正しい思考に騙されているのです。そして常にそれ自身の中で闘っているのです。勿論、最終的にはより小さなエゴが勝つのではなく、大きな方が勝つでしょう。しかし、そのためにはその人は多くの努力を重ね、そのために努力する必要があります。しかし、私たちが進化成長のプロセスを加速化するなら、多くの痛み、苦しみを避けることができるのです。**

**もちろん、進化成長の特定のステートに到達するためには、様々なステージを通過していく必要があります。それゆえ、私たちが認めていないそれらのシステム（＊他の霊的な組織）すらも過小評価すべきではありません。私たちが立っている見地からは、私たちはそれらを認めていませんが、しかし私たちもまたそのレベルを通過しなければならなかったのです。ですから、何であれ私たちが経験することを神が許したものを過小評価すべきではありません。**

**Page6**

**Ｑ：どこかで読んだのですが、自己実現した人は否定性を阻止、中和し、私たち各人が意識において成長すればするほど、それだけ全体の意識を高めることになる、例え2番目のサイクルにおいてもそうであると…。**

**K：人が啓発に向かって進めば進むほど、それだけ否定的なエレメンタルと向き合うことができるようになり、そのエネルギーを減らすことができます。しかし、あなたの意識が進めば進むほど、それらのエレメンタルの敵となるのです。それらのエレメンタルたちは普通の一般の人を恐れてはいません、そして彼等は部屋の中で守られている人を攻撃することはできません。あなた方が知識を得て、ノウハウを得て、部屋の外に出るとより危険に出会います。**

**レッスンで述べましたが、部屋にいる間はそれらのエレメンタルと向き合うのに必要な手段を備えています。それが今のあなた方の状態です。ですから恐れる必要はありません。そしてあなた方がそれらに直面する準備ができた時、恐れる必要はありません。なぜなら、向き合うための手段を得ているからです。何が真の価値であり、何が真の価値でないかを認識することができるでしょう。実際、何が上向きで何が下向きなのかが知るようになるでしょう。**

**ですから、あなた方に経験的知識を与える真のワークは、3番目のサイクルに入った時です。大部分の人類が3番目のサイクルに入った時、肯定性が否定性よりも優勢となります。否定性が肯定性よりも優勢である現在とは反対に。**

**現在のこの地球上でのバランスは主として、立ってガードしている存在によって保たれているのです、物理的現象があまり起きないようにと…それが起きると、この地球上に多くの痛み、苦しみがもたらされるので。地球を観察し、物理的現象を起こしているのは惑星ロゴスです。そして惑星ロゴスは人類の一人一人に同調しています。**

**惑星ロゴスとは何でしょうか？それは自己実現したスピリット・セルフ・モナドです。言い換えれば、このLifeの現れは人間のイデアを体験しており、その結果この地球上のすべての現在のパーソナリティーがどのように自分自身を現しているかを常に、たえず知る事ができるのです。それによって、物理的現象と共に必要な体験を与えているのです。**

**EREVNA PYR 55/KE07/S221106**